

「アジア諸語の言語類型と社会・文化的多様性を考慮した CEFR
能力記述方法の開発研究」
— 中間報告書 (2018 - 2019) —

目 次

はじめに	研究代表者 富盛 伸夫
第一部：国際ワークショップ報告 (2019 年 9 月 27 日)	
国際ワークショップ (2019 年 9 月 27 日開催) について	富盛 伸夫 1
Languages Education in Australia - Policies, perspectives and diversity within the context of the Australian Curriculum -	Antonella Chiera-Macchia 3
第二部：科研課題に関わる研究論文	
社会・文化的特質を考慮したコミュニケーション能力評価法：アジア諸語版 — 日本語版作成の試み—	藤森 弘子 9
『外国人に対するベトナム語能力枠』を考える — わたしたちは、教室の先にある「社会」を見ているのか—	田原 洋樹 21
アラビア語の社会・文化的特質 — 挨拶と邪視を中心に—	スライマーン・アラールエルディーン 33
CEFR-J に基づく英語テストのアジア言語への翻訳可能性 — リーディング・テストとライティング・テストに焦点を当てて—	根岸 雅史 43
中等教育における英語以外の外国語教育の現状と展望 — 大学入試、文科省の政策、東京都の政策—	山崎 吉朗 55

第三部：課題研究「アジア諸語の言語類型と社会・文化的多様性を考慮した
CEFR 能力記述方法の開発研究」の成果と総括(2018-2019)

社会・文化的特質を考慮したコミュニケーション能力評価法をめぐって：
アジア諸語版の試み(2018-2019)

ーアジア諸語を対象にした CEFR 受容で見えてきたものと捉えがたいものー

富盛 伸夫 73

CEFR の日本社会における受容について

峰岸 真琴 113

第四部：課題研究の概要と活動報告(2018-2019)

「アジア諸語の言語類型と社会・文化的多様性を考慮した CEFR 能力記述方法の
開発研究」の概要と活動実績(2018-2019)

富盛 伸夫 121

執筆者一覧